

## 【1 分解説】ホルムズ海峡・マラッカ海峡とは？

取締役 総合調査部長 石附 賢実

ホルムズ海峡とマラッカ海峡は、海上交通において極めて重要な役割を果たす海峡で、それぞれ世界の代表的な地政学上のチョークポイント（要衝）の一つです。

ホルムズ海峡は、ペルシャ湾とオマーン湾の間にある狭い水路です。この海峡は、原油や天然ガスが通過する重要な経路であり、エネルギー安全保障の観点から注目されます。

マラッカ海峡は、マレー半島とインドネシアのスマトラ島の上に位置し、インド洋と太平洋を結ぶ最短ルート上にあります。特に東アジアと中東、ヨーロッパを結ぶ海上輸送にとって死活的に重要であり、例えば日本、中国、韓国の貿易に係る多くの船舶がこの海峡を通過しています。

これらの海峡は、安全保障や国際貿易に大きな影響を与え続けています。ホルムズ海峡については中東情勢の不安定化の影響を受けやすく、2019年には日本企業が所有するタンカーが攻撃を受けるなど、事件も頻発しています。マラッカ海峡は、中国の台頭に伴い、中国はもちろんのこと、関係各国にとってその地政学的重要性がさらに高まっています。

一例として、日本とカタールを結ぶLNG船等のタンカーが両海峡を通過することを考えると、その重要性がイメージしやすいでしょう。

資料 ホルムズ海峡とマラッカ海峡



(出所)第一生命経済研究所作成

### 関連レポート

・「不正選挙と暴力の代償～岐路に立つ民主主義、Freedom House 年次報告からパワー・バランスを紐解く～」(2024年4月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/333644.html>